

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間環境学専攻

環境形成論講座 生活環境論コース 衣環境学研究室 井上真理

神戸大学は11学部、13大学院、1研究所で構成されています。神戸市灘区の六甲山の麓、山に沿って点在する各研究科の中でも、人間発達環境学研究科は最も標高の高い場所に位置しています。海と山に囲まれた自然豊かな地域です。

本研究科は2007年に総合人間科学研究科を改組して設置されました。1992年に教育学部を改組して設置された発達科学部を内包しています。生活環境論コースには、衣環境、食環境、メカニクス、エレクトロニクス、都市計画、生活心理、植物環境、バイオテクノロジーという多岐にわたる分野があります。

わが衣環境学研究室では人間と被服・繊維製品とのかかわりという観点から被服と皮膚との間にできる微環境を形成する被服、すなわち”*Portable Environment*「持ち運びできる環境」(Watkins, 1984)”およびテキスタイル(繊維製品)全般の快適性能について研究しています。

<研究テーマ>

1. テキスタイルの基本的物性の明確化

1) 繊維・糸の力学的特性の測定 2) 布の物理特性、熱・水分・空気の移動特性の測定

2. 衣服の着心地、または繊維製品の使い心地と耐久性の客観的評価

3. 人間の生理作用と被服材料との関係

1) 人間の生理作用(衣服内気候)の測定 2) 衣服圧の測定と二軸試験機を用いた予測

着心地にかかわる要因の一つとして暑い寒いにかかわる衣服内気候が挙げられ、衣服の材料である布の熱移動特性が重要な基礎データとなります。私の研究室では、Thermolabo II (カトーテック株)によって、接触冷温感、熱コンダクタンス、熱損失を測定しています。



保温性を求める熱損失の測定
Thermolabo II (カトーテック株)



接触冷温感、熱コンダクタンスの測定
Thermolabo II (カトーテック株)